

令和6年度 国語科「文学国語」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情報処理科 3年 A・B・C組
教科書	高等学校標準文学国語 (第一学習社)	副教材等	常用漢字オールクリア (尚文出版) 担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえること。	現代の小説①	「デューク」 江國香織	「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
5	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	現代の小説②	「相棒」 内海隆一郎	時間の経過とともに登場人物の心情と行動の変化に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
中間考査					
6	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。	現代の小説③	「ナイン」 井上ひさし	登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
7	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること	近代の小説①	「鼻」 芥川龍之介	鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
期末考査					

9	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えたとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。	言葉に近代の小説②	「こころ」 夏目漱石	物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
10			中間考査		
11	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。	近代の小説③	「山月記」 中島敦	表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味をふまえて作品の主題を考える。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
12			期末考査		
1	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	現代の小説④	「卒業」 魚住直子	仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。	文章の意味を理解できたか、語句の理解が正確か、発問・ノート・感想等を通じて確認する。
2			卒業考査		
3					

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。
思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

毎時間の板書内容のノートへの書き取りを忘れない、怠らない。ノート提出及び点検があるので、それに備えておく。プリントや課題の提出をおろそかにしない。議論で意見発表を積極的に行う。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。